

<h1>あいあいつうしん</h1>	No. 479	編集 京都ライトハウス
	2018 (平成30) 3.13	視覚支援 あいあい教室 TEL : 075-462-4462 FAX : 075-462-4464 aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

春めいた陽気が節目の月を運んできました。子どもたちが積み重ねてきた1年間の軌跡をふり返ると、熱い思いがこみ上げてきます。楽しかったこと、がんばったこと、悔しかったこと…子どもたちにもたくさん思い出ができたでしょうね。

寒い季節を乗り越え、梅の花のつぼみは開き始めています。穏やかな気候の下、春を探しにお出かけをするのもいいですね。

それでは、今月のつうしんをお届けします。



3月の予定

- 3日 (土) 視覚障がい乳幼児研究会『新潟』研修会 (古川・木村)
- 8日 (木) 保護者代表者会議 (13:00~14:00)
- 13日 (火) 洛陽保育園との交流 (午前グループ/あいあい プレイルーム)
- 25日 (日) 第41回 卒園式 (4階 あけぼのホール)
- 27日 (火) 通園最終日 (午前通園のみ)

※引き続き、後期個別懇談を行います。

※各グループで保護者リフレッシュデーを行います。

＜春休み＞3月28日 (水) ~4月2日 (月) ☆春休み中も職員は出勤しております。

＜通園保護者の方へお願い＞

- ★春休み中に各部屋の清掃を行います。保護者室のスリッパ・お子さんの引き出しの荷物は通園最終日に必ず持ち帰りいただき、新学期に再度持ってきてください。
- ★今年度で通園を終了される方は最終日に駐車許可証 (2種類) を返却してください。

4月の予定

- 3日 (火) 「はじまりのつどい」 (新入園児対象) (10:00~ プレイルーム)

今年度は、15人のお友達が対象です。

- 4日 (水) 新年度通園はじまり

『第41回 卒園式』のご案内

あいあい教室ではこの春、20人のお友だちが卒園を迎えます。卒園児さんの新たな門出のお祝いに、在園のみなさんもぜひ参加してくださいね。

日 時：3月25日（日）＊受付 9：30～
＊卒園式 10：00～12：00

会 場：ライトハウス 4階 あけぼのホール

内 容：皆勤賞の表彰・卒園式

★可能な方は、公共交通機関の利用をお願いします。



★★おたんじょうびおめでとう 3月うまれのおともだち★

A さん

2歳になります

トコトコ歩くのが上手になってきたAちゃん。「Aちゃん」と呼ぶと、かわいいニコニコ笑顔で先生に近づいてきます。この頃は、室内滑り台でも遊ぶようになりました。手をついて階段をのぼったり、シューッとすべるのも楽しいね。これからも、いろんなことを経験していこうね！

S さん

3歳になります

「Sちゃん」と名前を呼ばれると「はあ～」と手をあげるSちゃん。積み木を高く積んで「イエーイ！」とにこにこ笑顔で先生と拍手をします。好きなままごと遊びではお人形にスプーンでご飯をあげて、気分はちょっぴりお姉さん♪自分でやる楽しさをいっぱい味わってSちゃんの「できた！」をつみ重ねていこうね。

R さん

3歳になります

車が大好きなRちゃん。ひも通しで遊んだ時は、「トンネル とおりまーす」と大きなビーズにひもを通して…できるのが嬉しくて、いっぱい繋げていたね。初めてのことにドキドキもするけれど、のびのび遊ぶ姿に笑顔が輝いてるRちゃん。“やってみよう”気持ちを大切に、これからも思いきり楽しく遊ぼうね！

K さん

3歳になります

「Kも！」とやってみたくらいがっぱいのKくん。お友達と吊りブランコで電車ごっこをしたり、「おちないよーに」と一本橋を渡り、最後は“ぴょんっ”とジャンプもできるね。たくさん遊んで、給食の苦手な物も一口頑張れるようになってきたKくんの笑顔は、自信でとてもキラキラしているよ！

M さん

3歳になります

秋から始まったあいあいにもすっかり慣れたMちゃん。ままごとの玩具やお絵かきなど、色んな遊びをのびのびと楽しんでいるね。この頃は思いと違うと大泣きして、どうやら“じぶん”が芽生えてきた様子。一つずつ経験を重ねながら、泣いて笑って、その芽が大きく育ちますように。これからも一緒に楽しく遊ぼうね！

Y さん

5歳になります

すべり台で遊ぶのが楽しいYくん。下から登ったり、シューッとすべって先生と一緒に友達にタッチ。最近、絵本の時間もお気に入り。「がたんごとん」の絵本では、機関車が出てくるとじっと見てタッチ。自分でページをめくったり興味しんしん…。大好きな絵本の時間、これからも一緒に楽しもうね！

C さん

6歳になります

ホールでのリズムを楽しみにしているCちゃん。手押し車で前に進んだり、片足立ちも少しずつできるようになってきたね。最近、曲に合わせて先生と一緒にスキップを練習中。テンポの良いスキップの曲が大好きで、笑顔いっぱいのCちゃん！これからも、いろいろなことに挑戦していこうね。

～年長児 お母さんからのメッセージ～

その9. H さんのお母さん

Hの母です。年長からこちらでお世話になり、あっという間の1年間。卒園まで残り1ヵ月となりました。出生時にダウン症という先天性の障がいがある事が分かり、1歳から療育施設に通わせてもらっていました。しかし、成長と共に目の弱さや見えにくさを感じ、視覚支援の療育施設が近くにある事をお友達に教えてもらい、あいあい教室を見学させて頂いたのが通園のきっかけです。

Hは通園1年目と思えないくらい、毎回生き生きとあいあいに通っています。たくさんの経験、体験を積み重ね、一つずつ色々な事が出来るようになり、自信を持って取り組める事も増えてきました。先生方は視覚に関してはもちろん、その他の様々な発達段階、成長への悩みに対してもいつもの的確にアドバイスして頂き、就学に対して私が不安になった時は気持ちに寄り添って頂き、本当に感謝しています。

4月からの学校生活。母は不安な気持ちもありますが、Hはきっと新しい生活を楽しめる力を持っていると思います。いつでもそのままのHを受け入れてもらえるあいあい教室という場がある事を心の支えに、新しい生活に向かって行こうと思います。あいあい教室で出会えた先生方、お母さん方本当に有難うございました。

その10. Eさんのお母さん

Eの病気はアルストローム症候群といって、視覚、聴覚、心臓に障害があり、その他にも様々な合併症があります。生後8カ月の時に拡張型心筋症を患い、医師からは5年後の生存率の話までされました。退院しても通院と自宅療養の日々。正直、日々の生活を送るのに必死でした。1年程ひきこもりの生活が続いた頃あいあい教室を紹介していただき、いろいろ不安もありましたが現状を変えたいという思いもあり、通わせてもらうことに決めました。

通い始めてから1年くらいは、母子分離がなかなかできず泣いてばかり。給食も食べない日もありました。でも今ではあの頃悩んでいた事が嘘のようによく食べ、よく遊んであいあいでの生活を楽しんでいます。

病気をしてから5年半が経ちました。本当にここまでよくがんばってきたなあ…とEのがんばりにびっくりです。もうすぐ卒園と思うと寂しくなりますが、お友達と一緒に卒園できるなんて夢のようです。あいあい教室の先生方、保護者の皆様、お友達に本当に感謝しています。親子共々本当に充実した毎日でした。ありがとうございました。そして、これからもよろしく願いいたします。



その11. Lさんのお母さん

Lの目の病気（先天性白内障）が分かった日のことを今でもよく覚えています。たくさんの検査をした後、先生はこう言いました。「お母さん、これから大変ですよ。今まで普通に見えていた目を隠すんですから、子どもは当然嫌がりますよ。鬼にならないといけません。毎日戦いですよ」私はそれを聞いて、これからどんな辛い日々が待っているんだろう。どんな苦しい日々になるんだろう。と恐くて、毎日

これが悪い夢ならいいのに。とっていました。

そして、あいあい教室に通い始めた頃も、私自身Lの目のことが受け入れられず、アイパッチも出来ることならさせたくないな…とっていました。けれど、そんな後ろ向きな私の気持ちを徐々に変えてくれたのがあいあい教室の先生方と、保護者の皆さんとの出会いでした。おかげで今ではアイパッチは生活の一部になり、右目の視力も0.4から0.7に上がりました。

もし、あの時あいあい教室に出会っていなければ、Lの目のこともよく理解出来ず、手探り状態のまま親子で挫折していたかもしれません。最近少し反抗的になってきたLに、私が鬼の様な顔で「アイパッチは!?!」と言っていることは時々ありますが（笑）。あいあい教室での楽しかった思い出を胸に、これからも親子で成長出来ればと思います。最後に、3年間Lのことを優しく見守って頂いた先生方、本当にありがとうございました。

その12. Uさんのお母さん

あいあい教室に通い始めて3年になります。ひよこクラブから入れると4年目です。正直もう4年も経ったんだなーと時間が経つのがとても早く感じます。あいあい は初めての母子分離療育で、私と離れられず大泣きの日々。結局秋ごろまで分離できず、後ろで付き添いながらの療育が始まりました。先生方はそんな泣いてばかりのUが少しでも取り組めるようにと工夫をこらし、根気強く対応してくれて今では自分からバイバイと言って離れられるようになりました。療育では包丁で野菜を切ったり、ホットプレートでお好み焼きを焼いたり、準備の段階からも自分でやる、今までUにはまだ難しいと思っていたことも、しっかり説明しながらさせてくれ、Uにとってとても貴重な体験をたくさんさせてもらいました。また母部屋では悩みを共有したり、色々な情報を教えてもらったり私自身も毎回楽しみに通わせてもらいました。もう卒業かと思うととても寂しいですが、この経験を糧にこれからも親子共々成長していけたらと思います。そしてこのご縁を大切に、皆様とこれからも繋がっていけたらなと思います。本当にありがとうございました。

その13. Jさん・Fさんのお母さん

あいあいに通い始めてFは4年、Jは1年、ついに卒園となり、時の早さを感じています。初めてあいあいを訪れた時、明るく広々とした教室と優しく楽しい先生方にお会いし、ぜひ通いたいと思いました。

キララボールにセキスイテープ、光遊び、たくさんの遊びの中で、色々な表情を見せてくれたF。途中、長期入院もありましたが、今こうして元気に通えることができ、とても嬉しいです。Jは、バスに乗ってのお出かけや、ハサミを使っての製作、様々なことをあいあい体験し、それが生活の中でも少しずつ活かされてきました。

二人とも肢体不自由な為、どうしても身体全体の動きに注意がいき、目についてはあまり考えていませんでした。しかし、あいあいサポートして頂いたことで、見え方、見える距離など色々知る事ができました。あいあいでのたくさんの素敵な出会いに感謝し、このご縁をいつまでも大切にしていきたいと思っています。そして、JとFと共に4月からまた新しい一歩を踏み出したいと思います。

その14. Bさんのお母さん

「あいあいは何する?」「たいこー!」と笑顔で嬉しそう。そんなBはダウン症で生まれ、生後4ヵ月で心臓手術、少し落ち着くと合併症や弱視、近視、斜視も判明。1歳半で眼鏡でした。その頃は病院やりハビリ、療育に忙しすぎて自傷行為をする我が子に戸惑い落ち込み…。そんな時“あいあい教室”のことを聞き、体験だけでも!と訪れ、不安だった眼の事、音の事、色々教えていただきました。Bは通いだすと音楽や楽器に導いてもらい、イキイキとしていきました。またあいあいの経験が保育園の生活と重なり(連携してもらい)、一段ずつ自信を積み重ねていきました。そして私も多くの節目(園入学・行事・就学へ)を先生とお母さん方と泣いたり笑ったり一緒に歩み、支えていただきました。そんな4年間、子供の様々な成長や心にも寄り添ってくれる場所、共有し励まし合う親子のあたたかい場所、あいあい。この繋がった出会いに感謝!

ありがとう、そしてこれからもよろしくお願いします。



その15. Nさんのお母さん

Nは、1歳になる頃にたまたま受診した眼科で目の先天疾患が見つかりました。発達の遅れや全く動かない赤ん坊だった理由はこれだったかと納得すると同時に、これからどのように育てていけば…と悩んでいた時、紹介されたのがあいあい教室でした。

あいあいに通う事になり、本人はとても楽しんでいるようでしたが、発達は本当にマイペース。このままで大丈夫かと心配ばかりしていましたが、先生方はいつで

も優しく丁寧に関わって下さり、いつの間にか出来る事が増えていました。私自身も、Nが自信を持って日々を過ごしていくために必要なサポートの仕方（どうすれば見えやすくなるかの工夫）をたくさん学ばせていただきました。また、あいあいでは出会ったお友だちやお母さん方にたくさん力をもらって、強くなれた気がします。

あいあいでは積み重ねた多くの経験と、通っている保育所の先生方やお友だちのおかげで、年長のこの1年間は充実したものになりました。入所当初はここまでやれるとは正直思っていませんでしたが、Nなりのスタイルで年長の行事を楽しみ、達成感をもってやりきる姿に感動しました。

4月からの新生活がどんなものになるか不安も大きいですが、あいあいでは学んだことを生かして家族みんなで笑顔で過ごしていきたいと思います。そして、これは主治医の先生といつも話していることなのですが、いつかNが自分の持つハンデを自分の力（言葉）で周りの人達に伝えられるようになってくれたら…と思っています。たくさんの思い出と前を向いて進んでいく力をくれたあいあい教室に感謝しています。ありがとうございました。

その16. Oさんのお母さん

はじめてあいあい教室に見学に来たとき、先生が丸い銀盤をOのお顔の前で振ると、その光の反射に明らかに反応しているOの姿がありました。『えっ！わかるの?! キラキラ見えているの?!』私はひどく興奮して、すぐに明日からでもここに通いたいと強く思いました。あれから5年、ここに来るまで決して平坦な道のりではありませんでしたが、意思の疎通が難しいわが子の気持ちをいろいろな目線からくみ取って下さり、小さな小さな出来事や私の不安に耳を傾け、うなずいてアドバイスを下さった先生方には本当に感謝の言葉しかありません。

あいあい教室に来てOの遊びの幅もひろがりました。ピアノの音やお友達の声に泣いていた時期もありましたが、今ではそれも懐かしい思い出のひとつです。金曜日の母部屋でお母さん方と過ごした笑いあり涙ありの時間も私にとっては忘れられないひとときでした。

Oが生まれてから多くの方に支えてもらい、今の私達があります。感謝の気持ちを忘れず、これからもきなこの成長を見守っていききたいと思います。そして石田先生、Oはこの春から1年生になります!!

先生方、保護者の皆さま、ありがとうございました。

その17. Wさんのお母さん

Wが生まれてからの6年間、振り返れば走り続けてきて、今私たち親子が前を向いて希望を持って新しいステージに踏み出そうとしていることを思うと、これまで出会い導いてきてくださった多くの療育関係者の皆さん、幼稚園の先生方、Wと仲良くしてくれたお友だちとそのお母さん方、そしていつも温かく手をさしのべてくれる祖父母ら身内の協力と理解のおかげだなあとしみじみ感じます。

あいあいに通園したこの1年足らずは、ひよこクラブでたまにお世話になっていた数年間とは比べものにならないほど充実した学びと出会いの機会でした。あいあいの先生方は本当におだやかで愛情深い。Wも大好きです。あいあいの先生方が私たち親子と一度つないだ手を離さずに、見守りやさしく引き寄せてくださったからに尽きると思っています。何をするにも時間のかかるWに根気強くつき合い、親の思いに寄り添ってくださって、本当に心強かったです。困ったときには頼れる所があるということは大きな安心でした。


小学校という未知の世界に足を踏み入れる不安は小さくないけれど、Wならきっと大丈夫。いつの日か、大きく逞しく成長したWの姿を見せに来たいと思います。

その18. Dさんのお母さん

2歳からの保育園とあいあいの並行通園生活でしたが、振り返るとたくさんの思い出と学びが詰まった日々。Dのおかげでいろんな世界があることを知り、それは大変なことも辛いこともあるけれど、分かち合える仲間との出会いや経験は本当に貴重で、私の人生を豊かなものにしてくれました。

障がいを持つ子にとっては特に、まず親が学ぶ必要があり、親の成長が子の成長に繋がることを実感しました。あまり器用でない私をサポートしてくれたのがあいあい教室であり、先生や親御さんから教わったことは子育てをする上でどれほど助けてもらったか分かりません。この経験を私も誰かに共有していきたいし、喜びと感謝の輪を広げていきたいという気持ちです。

これから小学生になりますが、何があってもきっと大丈夫!!そう思わせてくれるあいあい、ありがとう!!

.....
あとがき 秋頃から編み物を始めた。セーターを編むのが目標だが、気がつけばもう3月。まだまだ完成の兆しは見えない。着られるのは何年後になるのだろう… 木村 あゆか 

編集人 古川 千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 Tel:075-462-4462